

自治会の統合、再編に関する打ち合わせ

令和6年7月21日（日）午後4時～

目的

①持続可能な自治会運営を図る ②区長（自治会長）等の負担軽減を図る

○現状の課題と背景の考察

- ・区長（自治会長）など、役員のなり手不足
- ・→ 社会環境（人口減、少子高齢化、ライフスタイルの多様化等）の変化
- ・ニーズが多様化する一方、慣例化する行事により、区長（自治会長）や役員等の負担増
- ・→ 自治会の役割が不明確、業務の集中、役割分担が困難
- ・退会者の増加（自治会にメリットがない、役員になりたくない）
- ・→ 地域（自治会員）の自治会への期待減、コロナ禍による自治会組織の衰退、コミュニティの希薄化

- ・今までどおり、自治会が行ってきたことを継続することが厳しい環境（コンプライアンスが厳しくなる一方、社会環境（ニーズ）が多様化する）

今後を見据えて、自治会運営を見直す時期がきている

○今後の取り組み

- ・統合・再編検討委員会を設立し、課題解決に向けた協議を行う



- ①. 今後の自治会のあり方、方針をまとめる
 - ②. 組織的な運営を目指し、組織の再編や統合により、業務分担を図る
 - ③. 自治会に対するニーズに応じられるように、活動の明確化、優先順位を設けるなど、今までやってきた活動を見直す
- ・少しずつでも、より良い方向に改善できるように検討していきたい

今、自治会は必要なのか

- 自分たちの住む場所は自分たちで良くするという考えのもと、自治会は、行政では対応が難しい案件に対し、そこに住む方が、より暮らしやすい環境を目指し、地域課題として対応してきた。
- 例えば、美化運動、防犯パトロール、防災訓練 等
- 自治会は、まちづくりにあっては、なくてはならないもの
- コミュニティづくり（見守り、憩いの場）、災害に対する共助づくり等

統合、再編の必要性について

- 自治会を持続可能なものとするために必要なこと
- 地域の方々の期待に応えられる組織体制を考える必要
(負担が集中しない、負担を分散する組織的な運営 → 人が必要)
- いままでと同じでは、自治会運営は継続できない
→ このままでは、最悪、解散という事態が懸念される
- 今から、統合や再編を考慮した協議が必要である
→ 今から準備をし、方針をまとめ、必要な時に対応できるようにする

進め方

- 第1回 7月 検討委員会の設立
- 第2回 8月～12月（数回）
- 現状の把握、課題整理、今後の自治会のあり方
→現状の整理、共有 等
- 統合、再編の必要性の整理、統合、再編に向けた取り組み（統合して行うべき事業の整理） 等
→統合、再編を考慮しつつ、課題解決に向けた方針
- 1月までに検討結果（最終又は中間）の報告書を作成する。
- 令和7年2月 各自治会に対して検討結果を報告
- ～3月 今後の方針について協議（実施、協議継続、廃止）